

人間工学専門資格制度 第一期認定をめぐって

労働科学研究所
酒井一博

日本人間工学会 人間工学専門家資格認定委員会

日本人間工学会

- 設立：1964年
- 会員：2000人強
- 会長：大久保堯夫（日大教授）

人間工学専門家資格認定委員会

- 1994年以来活動
- IEA（国際人間工学会）
- 36カ国加盟

人間工学の主要な応用領域

1. 製品開発における
インターフェース・
デザイン領域
2. 産業現場における
保健・安全対策の
実践領域
3. 生活場面における
生活者の支援方策
領域

1. より使いやすい機器
デザイン（ユーザビリ
ティ）
2. 腰痛予防、VDT指
針、疲労・ストレス対
策（働き方）
3. 社会のインフラ整備
（ユニバーサルデザイ
ン）、賢い生活者

専門資格制度制定の背景

- 質の確保とレベルアップ
- 社会的地位の向上
- PL法などの社会的ニーズに対
応した体制の整備
- 国際的整合性

（第一期委員会報告書より）

専門資格制度の位置付け

日本人間工学会に（普及）戦略はあった（ある）のか

1. 資格制度設立の切実な動機はあったのか；普及する側の論理が先行？
人間工学のプロとしての自立要求の脆弱さ
2. 大学人（教育側）の教養？
3. 国際的な動向

専門資格の国際動向

P E (Professional Ergonomist)

B C P E

C R E E

I E A

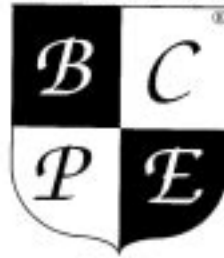
米国

欧州

国際人間工学会

*Candidate Handbook;
Certification
Policies, Practices & Procedures*

BOARD OF CERTIFICATION IN
PROFESSIONAL ERGONOMICS

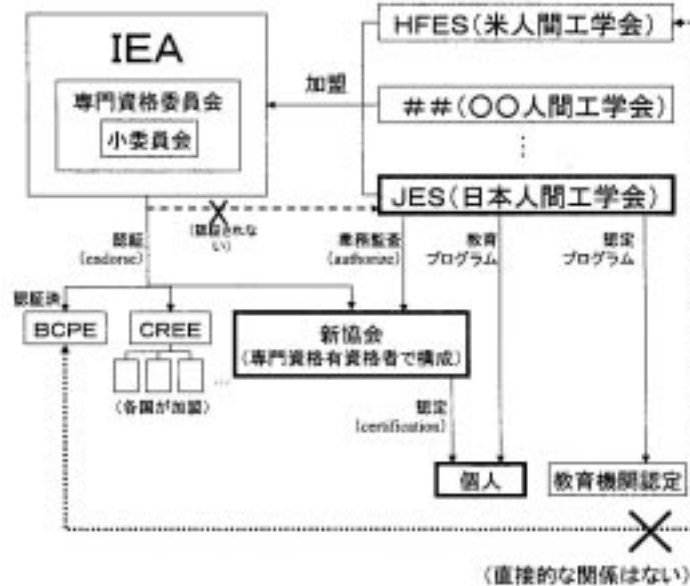


Fourth Edition
March 1999

Location:
BITE
121 N. Commercial #1200
Bellevue, WA 98225
FAX: 360-671-5361

Mailing Address:
BITE
P.O. Box 2011
Bellevue, WA 98227-0811
Phone: 360-671-5361

email: BICEERD@aol.com
http://www.bcp.org



日本人間工学会 人間工学専門家資格認定委員会

第1期（1994年～）

第2期（1997年～）

第3期（1999年～）

第4期（2001年～）

委員長菊池安行

委員長岸田孝弥

（1999年5月報告書）

委員長岸田孝弥

（2000年6月報告書）

委員長岸田孝弥

（2002年1月15日資格
制度の創設について
の答申）

日本人間工学会と産業界・通産省 との共同委員会

人間工学専門家資格認定制度の調査報告書（96年3月、人間生活工学研究センター）：委員長菊池安行

人間工学専門技術の人材育成委員会報告書（98年12月、日本人間工学会、人間生活工学研究センター）：委員長井谷徹

人間工学専門資格制度推進委員会報告（00年12月、日本人間工学会、人間生活工学研究センター）：委員長小木和孝

人材育成という国策の一環

資格の要件 (資格認定試験に合格する)

受験要件
専門知識の習得

実務経験

人間工学に関する専門
教育習得 3年以上も
しくはそれと同等以
上の専門教育習得歴
人間工学の実際的応用
に関する実務経験 2
年以上

国際的相互認証の可能性追求： I E A の基準クリア

人間工学専門家資格受験要件に 関する各国比較

	日本人間工学会	国際人間工学会	米国BCPE	欧州CREE
教育	専門教育 3年以上	学部教育と指導者 の下の訓練 3年以 上	修士課程修了	人間工学教育最低 1年を含む教育 3 年
実務	実務経験 2年以上	実践応用 2年以上 とその成果	実務経験 4年、人 間工学プロジェクト参加	専門家の監督下で 1年実習、単独・ 独立実務 1年とそ の成果

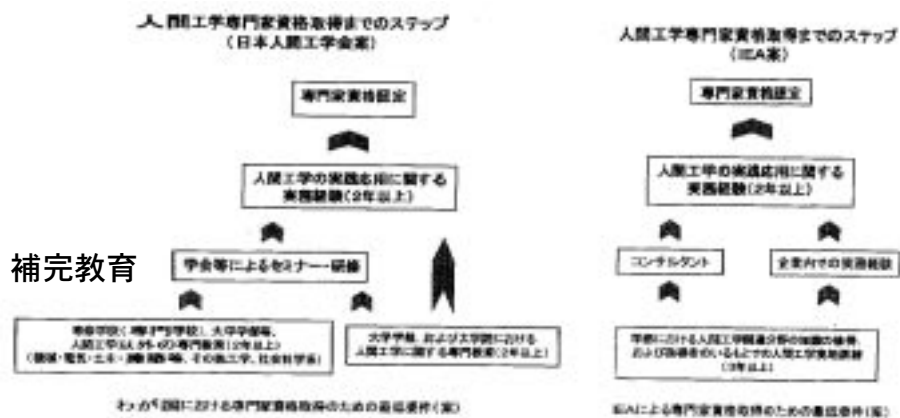
人間工学の専門知識

- [I] 人間工学の原理
- [II] 人間特性
- [III] 人間の特性の測定・評価
- [IV] 環境特性
- [V] 人間工学の応用 (＊)
- [VI] 人間工学評価 (＊＊)

(＊) 生活・産業場面で人間が使用する機器の設計、インターフェースの設計、システムの設計ならびに安全・健康・福利に関する応用性の高い分野

(＊＊) 人間工学の統合原理に基づく実際的な応用場面における使いやすさ、働きやすさ、安全性、生産性などからの分析・評価

専門資格取得までのステップ



日本人間工学会

IEA

第一期認定試験実施への道のり

2002年6月

資格制度設立準備委員
会の創設

2002年11月

第一期認定試験の実施
決定（第103回理事
会）

2002年12月

第一期認定試験実施の
公告

日本人間工学会 認定人間工学専門資格制度

- 「認定人間工学専門家」とは、人間工学分野の業務を担当するのに必要な知識、技術、問題解決能力が一定水準にあると学会が認定し、認定人間工学専門家名簿に登録した者

第一期認定試験

資格制度立ち上げのための移行措置

- 4年生大学を卒業している日本人間工学会の正会員もしくは名誉会員
- 実務経験がフルタイム換算で10年以上
- 実務経験に関する作品や改善などの実践事例が3例以上

第一期認定試験スケジュール

02年12月20日

募集開始（学会誌上および学会HP上で公告）

03年1月31日

応募書類提出締切

03年2月1日～3月14日

審査期間

03年3月31日

合格者発表

03年4月1日～4月30日

登録手続き期間

03年5月中旬

第一期認定者氏名発表

2020年5月20日

酒井 一博 様
(受験番号: 10105)

日本人工学会
資格制度設立準備委員会 行島 一彦
同委員会・審査委員長 藤田 篤志

日本人工学会認定人間工学専門資格制度
第一期認定試験結果通知

様へ 軒下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
このたびは日本人工学会認定人間工学専門資格制度第一期認定試験にご応募いただき
ありがとうございました。
資格制度設立準備委員会では、審査委員会を組織し、提出された応募書類をもとに、
審査基準に照らし合わせて厳正かつ標準に審査を行いました。
その結果、あなた様は第一期認定試験の基準を満たしており、

合 格

と判定されましたので、通知いたします。
審査に予想以上の時間を必要としたため、試験結果の通知が予定より大幅に遅れま
したことをお詫言致します。
なお、合格者は5月30日までに同様の手続きを行うことにより、日本人工学会認定人
間工学専門家として学会に登録することができます。
今後とも本制度についてご支援をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。
敬具

第一期認定試験

受験者数

145名

合格者数

124名

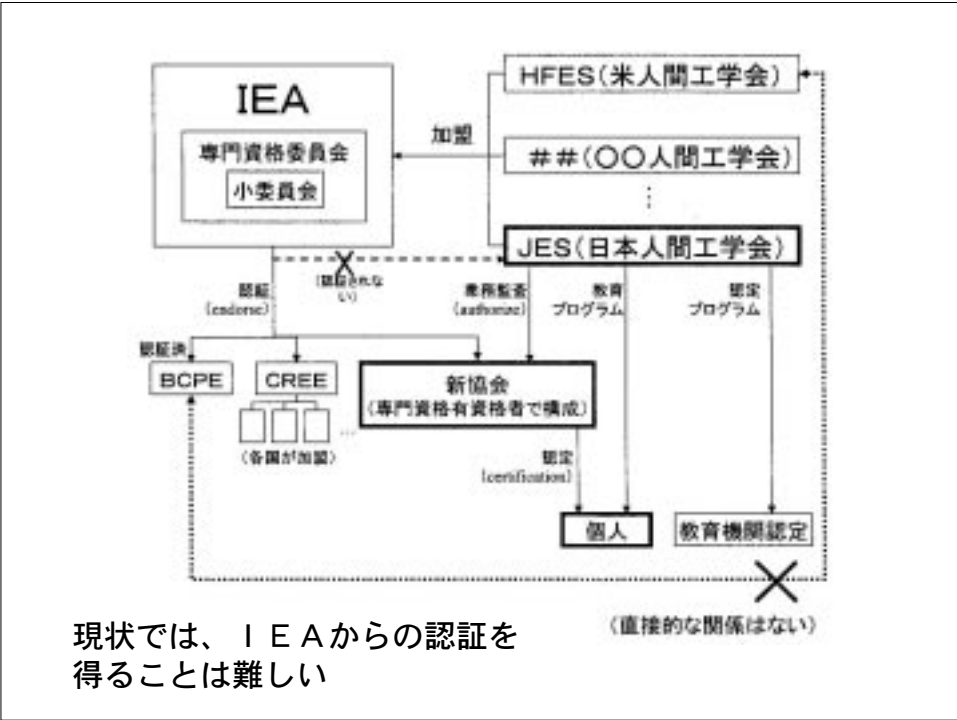
リカレント教育

資格の有効期間

5年ごとの書き換え

人間工学普及戦略

1. 資格はこれからどこまで使えるか
ビジネスモデルはつくれるか
コンサルタント業は根付くか
現状は何もない、国際認証へ行き詰まり
2. 人間工学手法の開発・普及が生命線
3. 底辺の拡大はどこまで可能か
一貫教育の可能性：大学教育と現場との連携
生活者や経営者への普及



人間工学の得意領域

- ユーザビリティの向上
- 筋負担・視覚負担の改善
- 作業スペースの快適化
- 作業編成の適正化・弾力化
- 作業組織・チームワークの活性化

手法開発と人間工学アセスメント法の普及

日本産業衛生学会 産業疲労研究会

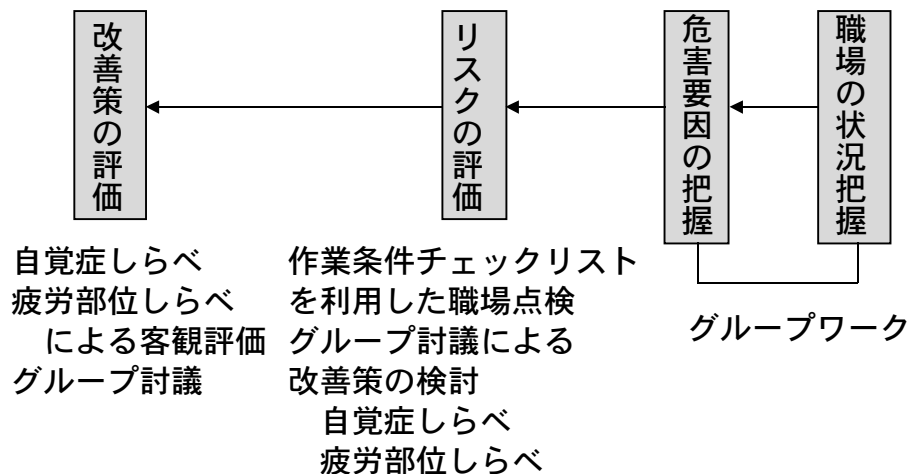
リスクアセスメントツール3点セット

- (1) 自覚症しらべ
- (2) 身体疲労部位
- (3) 作業条件チェックリスト

2003年4月選定

ほぼ、同じ趣旨でISOの規格化をすすめている
ISO/TC159/SC3/WG5
(議長：井谷徹名古屋市立大学教授)

リスクアセスメントに沿った ツールの使用法



関連学協会動き

J A B E E
経済産業省

産業保健人間工学会
ユーザビリティ学会
産業技術部会

日本技術者教育認定機構
人間工学人材育成カリキュ
ラムの開発

作業管理士？

？

？



日本技術者教育認定機構

J A B E E

03年7月20日
朝日新聞

認定人間工学専門家部会
設立総会

日時：03年8月2日（土）
15～17時
場所：東京芸術大学